

令和4年度広域産業振興局予算要求概要(案)

| 事業分野・事業名称 | 事業内容 | R3年度 事業 | | |
|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | R3年度 予算額 (千円) | 課題等 | 進捗・方向性等 |
| ◇関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業【新規】 | ○関西スタートアップ・エコシステムの情報発信戦略策定業務 ○発信コンテンツの選定、情報収集業務 ○関西スタートアップ・エコシステムポータルサイト作成・運営業務 ○情報発信業務 | 10,027 | ○京阪神コンソーシアムとの連携 ○域内の各取組みの相互乗り入れ型の促進 ○他地域との差別化、関西の特長の見せかたの工夫を ○エンジンとなる京阪神を動かし、関西全域へメリットを展開できる仕組みづくりを ○WEBサイトのアクセス状況の分析を | ○情報発信戦略策定 ・案策策定 (11月に成案化、リリース予定) ○情報発信 ・ポータルサイトの作成・運営(発信コンテンツの選定・情報収集を含む) ・SNS(Twitter、facebook等)の独自アカウントを開設 ・パンフレット作成 |
| ◇「メディカル ジャパン」等を活用した関西のポテンシャル 発信・強化 | ○「BioJapan 2021」に参加(新規)(10月) 【主催者】BioJapan組織委員会・(株)JTBCコミュニケーションデザイン 【場 所】パシフィコ横浜 【概要(案)】 ・ビジネスマッチングでの商談(11社参加予定) ・関西ライフサイエンスの強みを発信するセミナー実施 ○「メディカルジャパン2022大阪」でのブース出展(2月) 【主催者】リードエグジジビジョンジャパン(株) (関西広域連合は特別協力者として参画) 【場 所】インテックス大阪 【概要(案)】 ・関西ライフサイエンス分野の強み・ポテンシャルの紹介 ・産学官連携事例の紹介とセミナーのオンライン化 | 7,135 | ○域内企業等の発掘・出展促進 ○ビジネスマッチング機能の強化 ○ブース規模縮小の中での質の向上 ○メディカルジャパン(過去7年間)を総括し、次の取組みへ反映を | ○「BioJapan2021」パートナーリング(オンライン)への参加、セミナーの開催 ・広域連合域内企業11社が参加 ・関西のライフサイエンス分野のポテンシャル・認知度向上を目的としたセミナー ○「メディカル ジャパン 2022大阪」へのブース出展 ・メディカル開催時期に合わせ、独自バーチャル展示会の開催につき手法等検討中 |
| ◇医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施 | ○ものづくり企業の医療機器分野参入支援のための相談事業の実施(場所:大阪商工会議所、大阪イノベーションハブ、オンライン) ・医療機器ビジネスへの参入に関する相談 ・医療機器の企画・開発に関する相談 ・医療機器の業事申請、業許可に関する相談 ・その他、医療機器に関する各種相談 | 2,224 | ○構成府県市における企業の相談利用促進 | ○チラシ・HP・メルマガを活用したオンライン相談のPR強化 ・5月以降はオンライン相談のみの実施 |
| ◇「グリーン・イノベーション」研究成果企業化促進フォーラムの実施 | ○「グリーン・イノベーション」研究成果企業化促進フォーラム」の実施(12月) ・特別講演、研究成果発表、ポスターセッション、名刺交換会等 | 1,840 | ○マッチング機能の強化 | ○「グリーン・イノベーション」研究成果企業化促進フォーラム」の開催 ・「水素・燃料電池、蓄電池等のカーボンニュートラルに資する技術」をテーマとした研究成果発表会、特別講演等を実施 |
| ◇2025関西ショークース推進プロジェクト | ○実証実験プラットフォームの本格稼働・充実 ※関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業の稼働以降は一体的運営を予定 | 1,860 | ○スタートアップ企業情報の収集、発信強化 ○WEBサイトPRの強化 ○WEBサイトのアクセス状況の分析を | ○WEBサイト「スタートアップエコシステムKANSAI」の運営 ・発信内容:スタートアップや実証実験に関する域内のイベント、実証実験場、助成事業等 ※関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業の国内向けウェブサイトコンテンツを移行予定 |
| ◇企業のイノベーション創出を支援する広域的プラットフォーム構築 | ○情報発信機能の強化 ・「かんさいラボサーチ」のコンテンツの充実・拡充、PR強化 ○「産業技術支援フェア in KANSAI 2021」の実施(11月) ○経営支援機関等との連携強化 ○公設試験研究機関との連携 【懸案】 中堅・中小企業の技術開発支援体制の拡充に向けた検討 | 1,839 | ○「かんさいラボサーチ」の利用促進 ○コンシェルジュ機能のPR強化 ○マーケティング・コーディネート機能の充実(経営支援機関等とのネットワーク強化) ○「かんさいラボサーチ」の具体的な目標の設定(アクセス数除く)をすべき(広域産業振興にどう直結したかが重要) | ○令和3年4月に、ポータルサイト「かんさいラボサーチ」をオープン ・発信内容:各種サーチ機能、成功事例や研究者、経営支援情報等 ※コンシェルジュ機能の付加 ○産業技術支援フェア in KANSAI 2021-ものづくり×「いのちを救う」-の開催 |
| ◇関西プラスチックごみゼロ推進事業 | ○代替プラスチックの開発動向・技術シーズ等情報提供、研究開発支援 ○開発製品等のプロモーション支援 ⇒「SDGs対応技術展2021」の開催(9月) (大阪産業創造館(公益財団法人大阪産業局)と共催) ⇒代替プラスチックの開発動向等についてのWebセミナーの開催 | 1,918 | ○本部プラスチック検討会のR2年度調査結果の検証、事業への反映 ○スタートアップ支援の視点を組み込んだ事業展開を | ○「SDGs対応技術展2021」の開催 ・2030年までの国際目標として国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)17の開発目標の内、ものづくりと関係性の深い目標項目に絞った展示商談会を開催 ※オンラインマッチング開催準備中 |
| ◇企業のICT化等の取組み推進に向けた情報発信機能の強化【新規】 | ○企業のICT化等の取組み推進等、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の新たなビジネス戦略をテーマとするWebセミナーの開催 ※統計データ活用センターと協議・調整 | 1,029 | ○域内企業のDX、ICT化等の取組み状況、ニーズ等を踏まえた事業内容の検討 | ○「統計データ活用セミナー」の開催 ・自社を取り巻く外部環境の考察が必要となる、統計データの活用方法についてわかりやすく解説するオンラインセミナーを開催 |
| ◇ものづくりをはじめとする地域魅力の発信(①首都圏での催事、②「CRAFT14」情報発信) | ○首都圏での催事への出展等 ・新規事業を検討中 ○「CRAFT14」等の情報発信 ※「CRAFT14」の他、構成府県市から推薦のあった域内の認証制度で選出された商品の周知・広報 | 3,144 | ○BioBへのシフト ○広域観光局等と連携した関西域内への呼び込み・周遊につながる仕掛けの検討 ○新たな地域資源の発掘 | ○製品生活日本橋(有隣堂運営)との連携による首都圏でのプロモーションイベント開催 ・書籍とのコラボレーションを企画 ○「CRAFT14」等の情報発信 ※観光局との連携 |
| ◇ものづくりをはじめとする地域魅力の発信(海外産業プロモーションの実施) | ○海外産業プロモーション(パリ)中心において、域内ものづくり企業がつくる製品のテストマーケティングを通じたプロモーションを実施。製品に対する現地顧客やバイヤー等の評価等をものづくり企業にフィードバックし、海外販路開拓を支援。 | 3,555 | ○海外との人的往来を前提としない事業展開 ○現地の声を拾い上げる仕掛けの検討 ○海外プロモーションは、意識、目標等、企業間格差が大きい。ニーズ把握と絞り込みによる事業展開を | ○海外産業プロモーション事業の実施 ・欧州(パリ)における域内ものづくり製品のテストマーケティングを通じ、海外販路開拓を支援 |
| ◇人材検討会の運営 | ○人材検討会の運営 ・人材に関する企業ニーズ等の情報収集 ・参加メンバーによる交流型の勉強会等の開催 ・人材支援機関、企業等とのネットワークの構築 | 306 | ○企業ニーズを踏まえ、課題解決に直結する施策等の研究、検討 ○コロナ禍でリモートが浸透し人の動き方、働き方が変容している。人材の動きの変化を分析しておくことが必要。 | ○コロナ禍がもたらした影響等、最新の人材市場の動向について、APIRの協力のもと理解を深める検討会を実施予定 |
| ◇「from NOW ON KANSAI」の発行 | ○「from NOW ON KANSAI」の発行(年3回程度) ・域内の大学や経済団体、企業の取組みで、参考となるニュースや好事例等の情報を収集・発信 | — (広報活動費を活用) | ○企業の好事例の発掘・収集 | ○「from NOW ON KANSAI」の発行 ・第4号(コロナ禍での人材確保・育成について) 9月取材済み、10月末発行予定 ・内容検討中:第5号(ワーケーションに関して)、第6号(統計データ活用に関して) |
| ◇広報活動の実施 | ○広域産業振興局や構成府県市の施策の域内外への発信 ①ホームページやメールマガジン等による情報発信 ②産業用地情報、産業ファンダ関連情報、産業クラスター情報の更新 | 2,278 | ○事業の効果を外向けにアピールすることが今後にもつながり重要 ○認知度向上、ネットワーク拡大に向けた取組みの推進 ○情報内容、広報媒体等の質の向上 ○顧客管理データの精査 | ○ホームページ、Facebook、メルマガ等での情報発信 |
| 「関西広域産業ビジョン」推進会議の運営 | ○ビジョンに掲げた戦略に基づく取組の評価・検証に対する助言を受けるとともに、ビジョンの推進に係る意見交換を行うため、「関西広域産業ビジョン」推進会議を運営する。 | 276 | | |
| 管理費 | | 410 | | |
| | | 37,841 | | |



| R4年度 事業(案) | | | |
|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|-----------------|
| 事業名称 | 事業内容(案)・ポイント等 | R4予算要求額 (千円) 【概算】 | 予算増減 (R4-R3) |
| ◇関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業 | ・ポータルサイトの運営 ・海外媒体への情報発信 ・情報発信イベントの実施 ・有力データベースへの関西スタートアップの登録 ・SNS等を活用した情報発信 | 10,818 | 791 |
| ◇医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施 | ○「メディカルジャパン大阪2023」にブース出展 ○「BioJapan 2022」に参加 (令和3年度の実施結果を踏まえた取組内容の検討要) | 7,135 | 0 |
| ◇医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施 | ○おむね前年度どおり オンライン相談の積極的実施 | 2,224 | 0 |
| 「グリーン・イノベーション」研究成果企業化促進フォーラムの実施 | ○おむね前年度どおり | 1,840 | 0 |
| 事業廃止 | 関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業に継承 | | -1,860 |
| 公設試験研究機関の連携・情報発信(広域的プラットフォーム) | ・かんさいラボサーチの認知度向上・コンテンツ充実 ・産業技術支援フェアの充実強化 ・経営支援機関との連携事業 | 1,839 | 0 |
| 関西プラスチックごみゼロ推進事業 | ○おむね前年度どおり | 1,918 | 0 |
| 企業のICT化等の取組み推進に向けた情報発信機能の強化【新規】 | ○おむね前年度どおり | 1,029 | 0 |
| ②「CRAFT14」情報発信 | 「CRAFT14」についての情報発信。ホームページの公開やパンフレットの配架等を通じて、広く事業をPRする。 | 3,144 | 0 |
| 海外産業プロモーションの実施 | R3年度事業により開拓した構成府県市等の海外拠点を活用し、パリでのテストマーケティング後における広域的なプロモーションを実施。域内企業の海外販路開拓を支援する。 | 3,555 | 0 |
| 人材検討会の運営 | ○おむね前年度どおり | 306 | 0 |
| 「from NOW ON KANSAI」の発行 | ○おむね前年度どおり | — (広報活動費を活用) | 0 |
| 広報活動の実施 | ○おむね前年度どおり | 2,295 | 17 |
| 「関西広域産業ビジョン」推進会議の運営 | ○おむね前年度どおり | 276 | 0 |
| 管理費 | ○おむね前年度どおり | 410 | 0 |
| | | 36,789 | -1,052 |

| | |
|--------------------------|------------|
| 令和3年度予算額・・・(a) | 37,841,000 |
| うち3%削減対象経費・・・(b) | 35,037,000 |
| 令和4年度削減目標額(b)×0.03・・・(c) | 1,051,110 |
| 令和4年度予算要求可能額(a)-(c) | 36,789,890 |